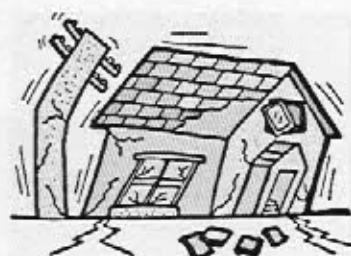


南海トラフ地震は今後30年以内に70%の確率で発生するといわれています。今回は、いつ起こるか分からない地震に対する知識と備えを紹介します。

- 地震は突然起こります……………P 1
- 地震発生！その時あなたは……………P 2
- 地震に備える……………P 3
- 基礎調査のお知らせ……………P 3
- 消防局からのお知らせ……………P 4



地震は突然起こります

地震は、いつ、どこで起こるか分かりません。

揺れを感じたり、緊急地震速報が鳴った場合には、ただちに身を守る行動をとる必要があります。

いざというときに自分や家族の命を守るため、地震が起きたときに、状況に応じた適切な行動を知っておくことや、日ごろから地震に備えておくことが重要です。



● 緊急地震速報ってどんなもの？

緊急地震速報は、気象庁が発表します。最大震度5弱以上の地震が予想される時に、強い揺れが予想される地域に対し、以下の手段等で報知音（ブザー音）とともに伝えられます。

発表から強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒であり、必ず的中するとは限りませんが、自分の身を守るため、最大限に活用しましょう。

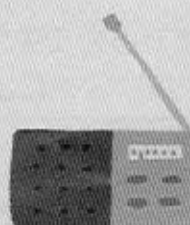
予め安全な場所を確認しておくほか、地震が起きたらどうするか実際に行動をしてみるなど、日頃から準備しておきましょう。



テレビ



携帯電話・スマホ



ラジオ



防災行政無線

※ テレビやラジオは、つけている時のみ緊急地震速報が流れます。

地震発生！その時あなたは・・・

大きな地震が起きたとき、あわてずに冷静に対応することが命を守ることにつながります。
その場の状況に合わせた身を守る行動をとるようにしましょう。

○ 家庭（屋内）では

- ・頭を保護して、丈夫な机の下など、安全な場所に避難する。
- ・あわてて外に飛び出さない。
- ・無理に火を消そうとしない。



○ 電車・バスでは

- ・手すりやつり革にしっかりつかまる。



○ エレベーターでは

- ・最寄の階に停止させ、すぐに降る。



○ 屋外では

- ・ブロック塀や自動販売機等の転倒に注意する。
- ・看板や割れたガラスの落下に注意する。



○ 自動車運転中では

- ・急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度を落とす。
- ・ハザードランプを点灯し、周りに注意を促す。



○ 山やがけ付近では

- ・がけ崩れや落石に注意。



（出典：気象庁ホームページ）

地震によるライフラインへの影響

震度6強程度以上の揺れとなる地震が起きたときには、広い地域で、電気、水道、ガスの供給が停止することがあります。

また、電話やインターネットによる安否確認等が増加し、電話等がつながりにくい状況が起こることがあります。

ライフラインが復旧するまで自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくほか、災害用伝言ダイヤルやSNSによる家族との安否確認の方法を確認しておきましょう。



電気



水道



ガス



電話回線

地震に備える

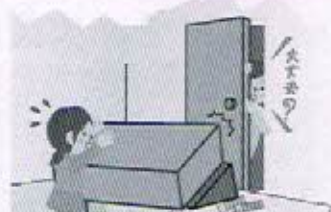
家の中は、地震が起きたとき、けがや避難の妨げの原因になるものがたくさんあります。家具を固定するなどして、危険箇所を改善しておきましょう。また、避難する際に必要となる非常持ち出し品の準備や、安否確認方法などについて家族で話し合っておきましょう。

家具・家電の固定



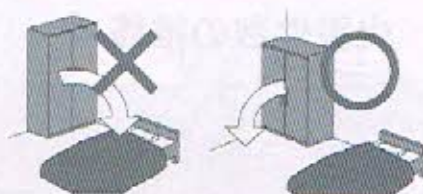
L字金具などでしっかり固定

避難経路の確保



出入口の周辺はなるべく広く

家具の配置換え



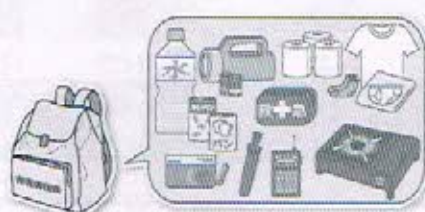
家具の転倒方向と重ならないように

家庭内備蓄



最低3日分（できれば1週間分）の飲料水や食料品を

非常持ち出し品の準備



必要なものを両手が使えるリュックに

家族会議



避難先や安否確認方法の確認

～基礎調査のお知らせ（広島市下水道局河川防災課）～

※基礎調査とは

土砂災害警戒区域等の指定のため、溪流や斜面など、土砂災害により被害のおそれがある区域の地形、地質及び土地利用状況などについて調査をするものです。

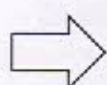
◎ 平成30年度に、広島県が次の小学校区の土砂災害防止法に係る基礎調査を予定しています。

- 新規調査
 - 中区：舟入、江波
 - 南区：青崎、向洋新町、段原、皆実、楠那、宇品東、元宇品、似島
 - 安佐北区：井原、志屋、高南、三田、狩小川
 - 安芸区：瀬野、みどり坂、中野東、阿戸
- 再調査
 - 安佐南区：上安、伴、伴東、長東西、安北、安西

◎ 基礎調査実施後の流れ

基礎調査結果の公表 ⇒ 住民説明会 ⇒ 区域指定

◎ 土砂災害警戒区域等の公表・指定状況は
広島県のHPで確認できます。



土砂災害ポータルひろしま

検索

お問い合わせ先

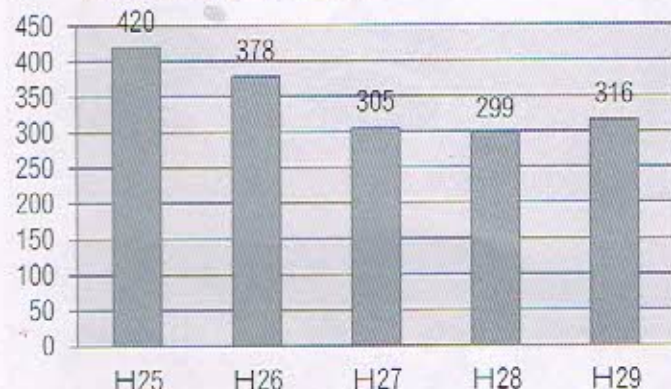
広島市下水道局河川防災課 082-504-2377
県西部建設事務所 事業調整・土砂法指定推進班 082-250-8164

春の火災予防運動

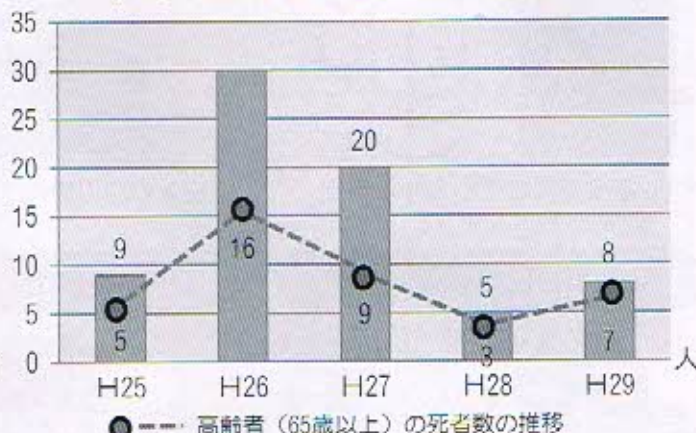
平成30年3月1日～3月7日

まだまだ寒い日が続く、空気も乾燥して、火災が発生しやすい時期です。
火気の使用には十分注意してください。

1 火災件数の推移



2 火災による死者数の推移

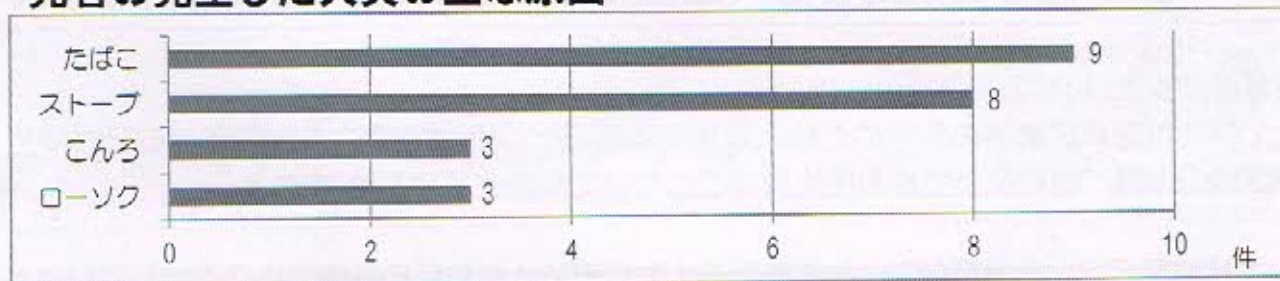


※数値は広島市消防局管内の過去5年間のものです。平成29年の数値は速報値のため、今後変動する可能性があります。



火災による死者数は平成26年をピークに減少傾向ですが、死者のうち、約半数が高齢者（65歳以上）です。特に、昨年は8人中7人が高齢者となっています。

3 死者の発生した火災の主な原因



火災の主な原因の対策ポイント

たばこによる火災

- たばこ火災とは
- くすぶった状態が続いた後に、火災になるのが特徴です。



Point

- ✓ たばこは水に浸してから捨てる
- ✓ 灰皿にたばこの吸殻をためない
- ✓ 寝たばこは絶対にしない



ストーブによる火災

- ストーブ火災とは
- ストーブにものが触れて火災になるのが特徴です。



Point

- ✓ 燃えやすいものを近くに置かない
- ✓ 衣服、寝具等は燃えにくい防災品を使用する
- ✓ 寝るときはストーブの火を消す
- ✓ ストーブで洗濯物を乾かさない
- ✓ 給油はストーブの火を消してから行う

